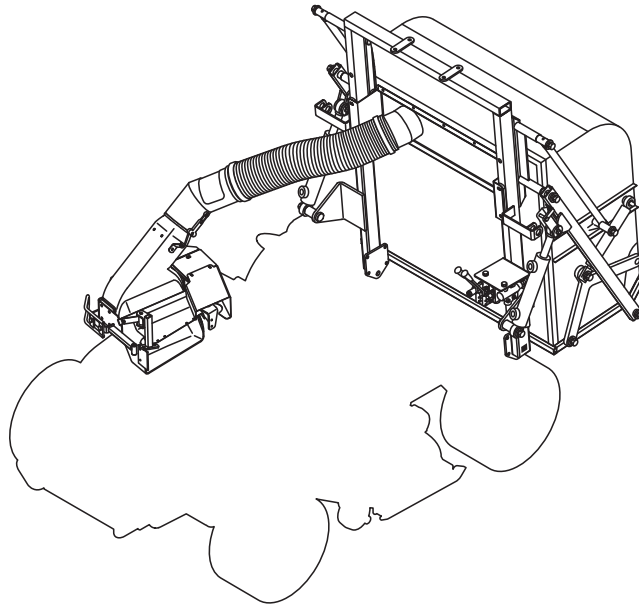


GM1700

GM1700 用ハイダンプスーパー

取扱説明書



Serial No. GM1700 : 20810- (GM1700 車両本体)

「必読」
ご使用前に必ず本書をお読みください。

BARONESS[®]
Quality on Demand

Ver.1.3

ごあいさつ

このたびは、バロネス製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書は、この製品の正しい取り扱い方法と調整方法、また点検方法について説明しています。
いつまでも優れた性能を発揮させ、安全な作業をしていただきますようお願いいたします。
なお、車両本体についての取り扱い方法と調整方法、また点検方法については、車両本体の取扱説明書を参照してください。

本書を読んで製品の使用方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑のかからない、適切な方法でご使用ください。

この製品を適切かつ安全に使用するのをお客様の責任です。

整備を行う場合は専門知識のある要員によって作業を行ってください。

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽に弊社代理店、販売店または、弊社にお問い合わせください。


お問い合わせの際には、必ずこの製品の型式と製造番号をお知らせください。

この製品を貸与または、譲渡する場合はこの製品と一緒に本書をお渡してください。

株式会社 共栄社

危険警告記号の説明

本書では安全に関する重要な取り扱い上の注意事項について、危険警告記号を使用し、次のように表示しています。

 696cq5-001	危険警告記号
<p>この記号は「危険」「警告」「注意」に関する項目を意味します。 いずれも安全確保のための重要事項が記載してありますので、注意してお読みいただき、十分理解してから作業を行ってください。 これらを遵守されない場合、事故につながるおそれがあります。</p>	
<p>⚠ 危険 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示しています。</p> <p>⚠ 警告 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うおそれがあるものを示しています。</p> <p>⚠ 注意 その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるもの、または物的損傷の発生が予測されるものを示しています。</p> <p>重要 製品の構造などの注意点を示しています。</p>	

はじめに

使用上の注意

注意

本書記載事項は、改良のため予告なしに変更する場合があります。

部品交換を行う場合は、必ず「BARONESS 純正部品」または「弊社指定部品」を使用してください。

純正部品以外の部品を使用して生じた不具合については責任を負いかねます。

この製品を使用する前に下記の取扱説明書を必ずお読みいただき、内容を十分にご理解ください。

- ・ バロネス製品の取扱説明書

使用目的

このアタッチメントは、ゴルフ場の芝草刈り作業を目的とした機械です。

この目的以外で使用したり、機械の改造をしないでください。

このアタッチメントをその他の目的で使用したり、改造すると大変危険であり、機械を損傷する原因にもなります。

安全	Page 1-1
安全上の注意事項	Page 1-2
廃棄	Page 2-1
リサイクルおよび廃棄処分	Page 2-2
製品概要	Page 3-1
仕様	Page 3-2
各部の名称	Page 3-3
規制ラベル	Page 3-3
警告ラベルと指示ラベル	Page 3-4
取り扱い説明	Page 4-1
取り扱いに関する注意	Page 4-2
使用前の点検	Page 4-2
締め付けトルク	Page 4-3
各部の操作方法	Page 4-6
作業	Page 4-8
長期保管	Page 4-9
メンテナンス	Page 5-1
メンテナンス上の注意	Page 5-2
メンテナンススケジュール	Page 5-3
グリースアップ	Page 5-4
メンテナンスの方法	Page 5-5

安全上の注意事項 Page 1-2



誤使用や整備不良は負傷や死亡事故につながります。

危険

この製品は、安全な取り扱いができるように設計されており、工場出荷時には十分な試運転や検査を重ねた上で出荷しております。

事故防止のための安全装置は装備しておりますが、これらは適切な操作、取り扱い、および日常の管理方法が大きく影響します。

この製品を適切に使用または管理しない場合、人身事故につながるおそれがあります。

以下の安全指示に従い、安全な作業を行ってください。

安全上の注意事項

安全上の注意事項は、このアタッチメントが取り付けられているバロネスの車両本体の取扱説明書を熟読してください。

リサイクルおよび廃棄処分Page 2-2

リサイクルについて Page 2-2

廃棄処分についてPage 2-2



リサイクルおよび廃棄処分

リサイクルについて

バッテリーなどは環境保護および資源の有効活用のためにリサイクルされることを推奨します。
また、地域によっては法律により義務付けられています。

廃棄処分について

整備、修理などの作業で出た廃棄物については、地域の法律に従って適切に処分してください。
(例：廃油、不凍液、ゴム製品、配線など)

仕様	Page 3-2
仕様表	Page 3-2
ハイダンブスパーの特性	Page 3-3
各部の名称	Page 3-3
規制ラベル	Page 3-3
規制ラベル貼付位置	Page 3-3
規制ラベルの説明	Page 3-3
警告ラベルと指示ラベル	Page 3-4
警告ラベルと指示ラベルについて	Page 3-4
警告ラベル・指示ラベル貼付位置	Page 3-4
警告ラベル・指示ラベルの説明	Page 3-4

製品概要

仕様

仕様表

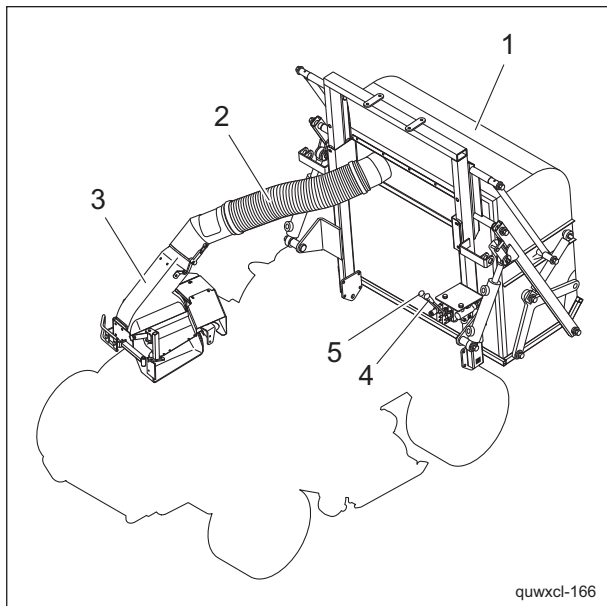
型式	GM1700 用ハイダンプスイーパー		
寸法	全長	[310 cm]	
	全幅	[200 cm]	
	全高	ルーフ	[205 cm]
		ハンドル	[121 cm]
集草装置		[183 cm]	
質量	213 kg [1,040 kg]		
ダンプ高さ	150 cm		
バケット容量	700 L (有効容量 600 L)		

※ [] 内は、GM1700 車両本体 (燃料タンク空/ロールバー付) +スタンダードデッキに装着時。

ハイダンプスイーパーの特性

1. 刈り込み作業と同時に集草作業が可能です。
2. 2t ダンプへの排出作業が可能です。
3. スタンダードデッキへの取り付けが可能です。

各部の名称

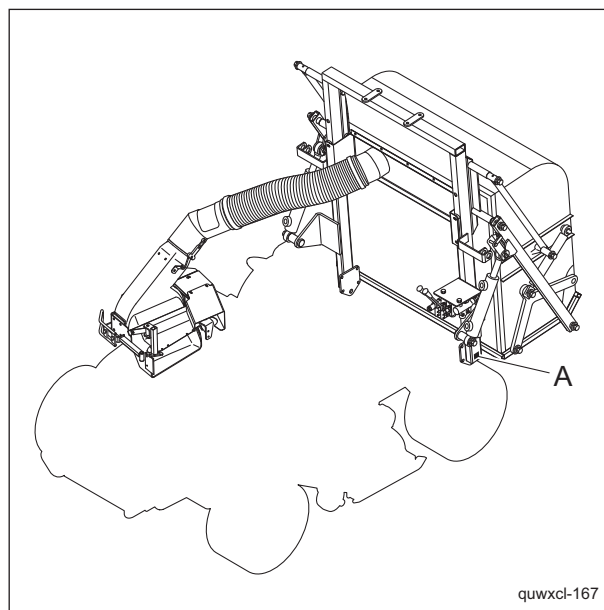


各部の名称_001

1	バケット
2	ダクトホース
3	ブロー
4	バケット開閉レバー
5	バケット上下レバー

規制ラベル

規制ラベル貼付位置



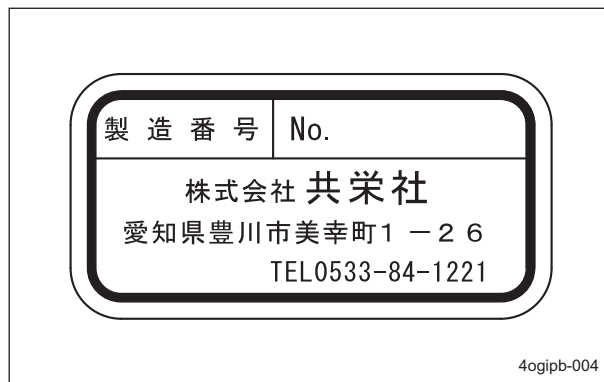
規制ラベル貼付位置_001

A 機番プレート

規制ラベルの説明

機番プレート

機番プレートは、製造番号が記載されています。



機番プレート_001

製品概要

警告ラベルと指示ラベル

警告ラベルと指示ラベルについて

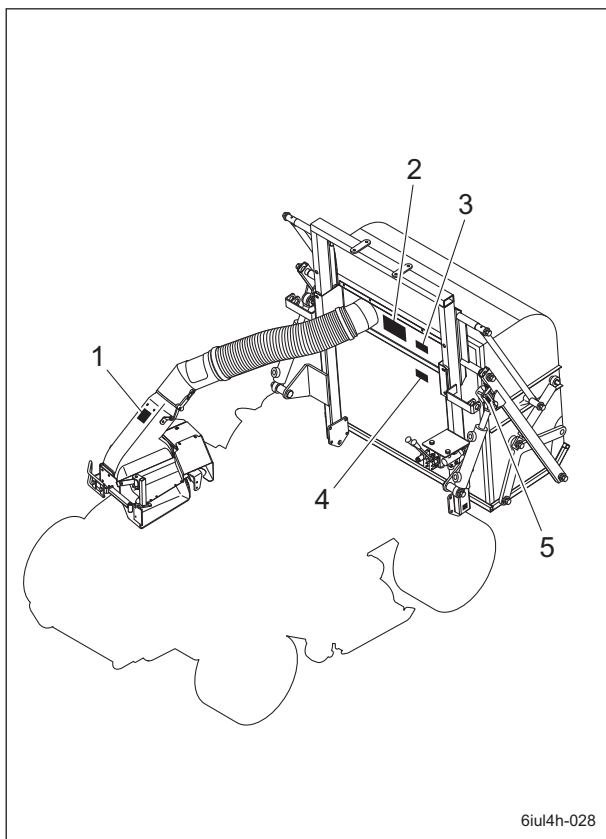
重要

このアタッチメントには、警告ラベルと指示ラベルが貼り付けられています。
ラベルはきれいに保ち、損傷や汚れ、はがれがあった場合は、新しいものと交換してください。

交換するラベルの部品番号は、パーツカタログに記載されております。

購入販売店または弊社に注文してください。

警告ラベル・指示ラベル貼付位置



警告ラベル・指示ラベル貼付位置_001

1	飛散・回転物注意マーク
2	ハイダンプ警告マーク
3	急傾斜地作業警告ラベル
4	排出注意ラベル
5	ロック装置警告マーク

警告ラベル・指示ラベルの説明

飛散・回転物注意マーク

K4205001670

飛散・回転物注意マーク

飛散物や回転物に対する注意事項について記載されています。



飛散・回転物注意マーク_001

ハイダンプ警告マーク

K4205001420

ハイダンプ警告マーク

バケットを上げるときの注意事項について記載されています。



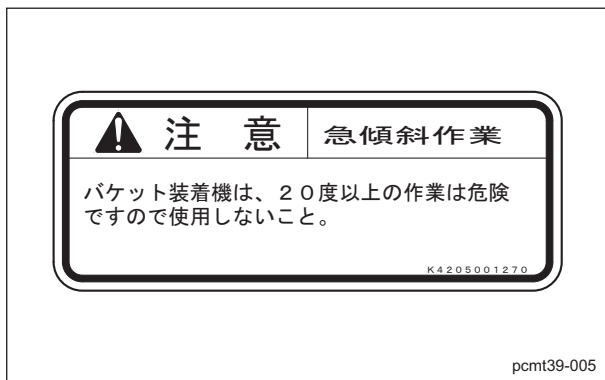
ハイダンプ警告マーク_001

急傾斜地作業警告ラベル

K4205001270

急傾斜地作業警告ラベル

急傾斜地作業注意事項について記載されています。



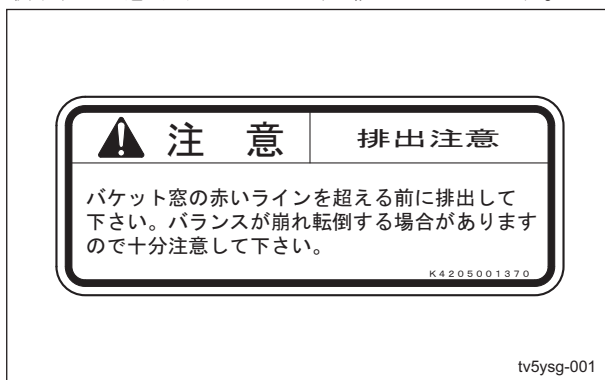
急傾斜地作業警告ラベル_001

排出注意ラベル

K4205001370

排出注意ラベル

排出の注意事項について記載されています。



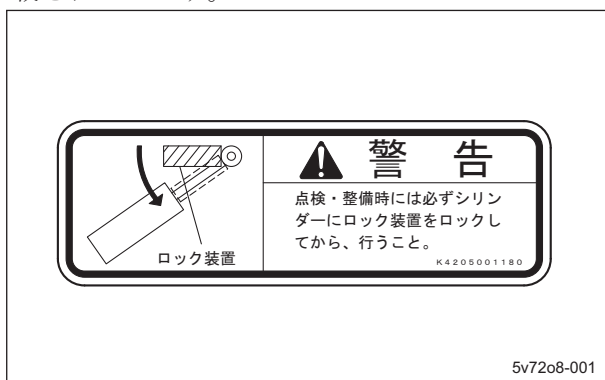
排出注意ラベル_001

ロック装置警告マーク

K4205001180

ロック装置警告マーク

シリンダーのロック装置の注意事項について記載されています。



ロック装置警告マーク_001

取り扱いに関する注意	Page 4-2
使用前の点検	Page 4-2
カバー	Page 4-2
ベルト	Page 4-2
集草機	Page 4-2
締め付けトルク	Page 4-3
標準締め付けトルク	Page 4-3
重要締め付けトルク	Page 4-5
各部の操作方法	Page 4-6
操作ラベル貼付位置	Page 4-6
操作ラベルの説明	Page 4-6
バケット上下レバー	Page 4-6
バケット開閉レバー	Page 4-7
シリンダーロック	Page 4-7
作業	Page 4-8
集草操作	Page 4-8
排出操作	Page 4-8
長期保管	Page 4-9
長期保管について	Page 4-9

取り扱い説明

取り扱いに関する注意

重要

本書は、アタッチメントに関する取り扱いについて記載されています。
取り扱いについては、本書および、車両本体の取扱説明書をご参照ください。

使用前の点検

機械の性能を引き出し、長くご使用いただくために、必ず使用前の点検をしてください。

カバー

カバーの点検

⚠ 注意

点検時に防護カバーを取り外した場合は、必ず元の位置に確実に取り付けてください。
防護カバーが取り外されていると、異物が飛散してケガをするおそれがあります。

1. ロータリーカバーおよび防護カバーなどに磨耗や劣化が無いか確認してください。
2. ロータリーカバーおよび防護カバーなどに破損が無いか確認してください。
3. ロータリーカバーおよび防護カバーなどに変形による可動部への干渉が無いか確認してください。
4. 防護カバーなどが所定の位置に取り付けられているか確認してください。

ベルト

ベルトの点検

⚠ 警告

ベルトの点検は、必ずエンジンを停止させた状態で行ってください。

⚠ 注意

点検時にカバーなどを取り外した場合は、必ず元の位置に確実に取り付けてください。
カバーなどが取り外されていると、回転物やベルトに触れたり、異物が飛散してケガをするおそれがあります。

1. ベルトの中央を指で押さえて、張り具合を確認してください。

2. 亀裂、損傷、異常磨耗が無いか確認してください。

集草機

ブローの点検

1. ブローに磨耗や破損が無いか確認してください。
2. アンダーカバーに磨耗や破損が無いか確認してください。
3. ファンに曲がり、破損が無いか確認してください。
4. インナープレートの磨耗や破損、変形による可動部への干渉が無いか確認してください。

ダクトホースの点検

1. ダクトホースに劣化や破損が無いか確認してください。
2. ダクトホースが外れていないか確認してください。

バケットの点検

1. バケット、バケットフタに破損が無いか確認してください。
2. バケット窓に破損が無いか確認してください。
3. バケットがスムーズに上昇、下降するか確認してください。
4. バケットフタがスムーズに開閉するか確認してください。

締め付けトルク

重要

締め付けトルク一覧を参照してください。
異常な締め付け、オーバートルクでの締め付けなどで生じた不具合については、弊社では責任を負いかねます。

標準締め付けトルク

ボルト、ねじ類

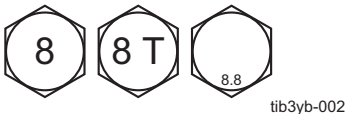
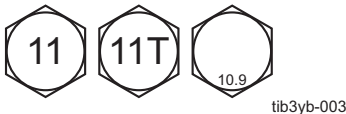
重要

各部には、ボルト止めが多く使われております。
使用初期はボルト、ナットなどの緩みが出る場合がありますので、必ず増し締めを行ってください。

特別指示の無いボルト、ナットは、適切な工具により適正な締め付けトルクで締め付けてください。
締め付けが強すぎると「ねじ」は緩んだり、破損したりします。
締め付け強さは、ねじの種類、強度、ねじ面や座面の摩擦などで決めております。
一覧表は、亜鉛メッキまたはパーカー処理したボルトを対象としております。
めねじの強度が弱い場合は適用できません。
さびていたり、砂などが付着している「ねじ」は、使用しないでください。
所定の締め付けトルクを与えても締め付け不足になります。
ねじ面の摩擦が大きくなり、締め付けトルクのほとんどを摩擦損失し、締め付ける力になりません。
「ねじ」が水や油で濡れている場合は、通常締め付けトルクで締めないでください。
ねじが濡れるとトルク係数が小さくなり、締め過ぎになります。
締め過ぎると、ねじが伸びて緩んだり、破損することがあります。
一度、大きな負荷がかかったボルトは、使用しないでください。
インパクトレンチで締めるときは、熟練が必要です。
できるだけ安定した締め付け作業ができるように練習してください。

取り扱い説明

呼び径	一般ボルト		
	強度区分 4.8		
			
	N-m	kgf-cm	lb-in
M5	3 - 5	30.59 - 50.99	26.55 - 44.26
M6	7 - 9	71.38 - 91.77	61.96 - 79.66
M8	14 - 19	142.76 - 193.74	123.91 - 168.17
M10	29 - 38	295.71 - 387.49	256.68 - 336.34
M12	52 - 67	530.24 - 683.20	460.25 - 593.02
M14	70 - 94	713.79 - 958.52	619.57 - 831.99
M16	88 - 112	897.34 - 1142.06	778.89 - 991.31
M18	116 - 144	1,182.85 - 1,468.37	1,026.72 - 1,274.54
M20	147 - 183	1,498.96 - 1,866.05	1,301.10 - 1,619.73
M22	295	3,008.12	2,611.05
M24	370	3,772.89	3,274.87
M27	550	5,608.35	4,868.05
M30	740	7,545.78	6,549.74

呼び径	調質ボルト					
	強度区分 8.8			強度区分 10.9		
						
	N-m	kgf-cm	lb-in	N-m	kgf-cm	lb-in
M5	5 - 7	50.99 - 71.38	44.26 - 61.96	7 - 10	71.38 - 101.97	61.96 - 88.51
M6	8 - 11	81.58 - 112.17	70.81 - 97.36	14 - 18	142.76 - 183.55	123.91 - 159.32
M8	23 - 29	234.53 - 295.71	203.57 - 256.68	28 - 38	285.52 - 387.49	247.83 - 336.34
M10	45 - 57	458.87 - 581.23	398.30 - 504.51	58 - 76	591.43 - 774.97	513.36 - 672.68
M12	67 - 85	683.20 - 866.75	593.02 - 752.34	104 - 134	1,060.49 - 1,366.40	920.50 - 1186.03
M14	106 - 134	1,080.88 - 1,366.40	938.21 - 1,186.03	140 - 188	1,427.58 - 1,917.04	1,239.14 - 1,663.99
M16	152 - 188	1,549.94 - 1,917.04	1,345.35 - 1,663.99	210 - 260	2,141.37 - 2,651.22	1,858.71 - 2,301.26
M18	200 - 240	2,039.40 - 2,447.28	1,770.20 - 2,124.24	280 - 340	2,855.16 - 3,466.98	2,478.28 - 3,009.34
M20	245 - 295	2,498.27 - 3,008.12	2,168.50 - 2,611.05	370 - 450	3,772.89 - 4,588.65	3,274.87 - 3,982.95
M22	—	—	—	530	5,404.41	4,691.03
M24	—	—	—	670	6,831.99	5,930.17
M27	—	—	—	1,000	10,197.00	8,851.00
M30	—	—	—	1,340	14,628.78	11,860.34

参考：

「細目ねじ」についても、同じ数値とする。

重要締め付けトルク

機種別締め付けトルク

GM1700_グラスキャッチャー／ハイダンプスイーパー

次のボルト、ナットは下記のトルクで締め付けてください。

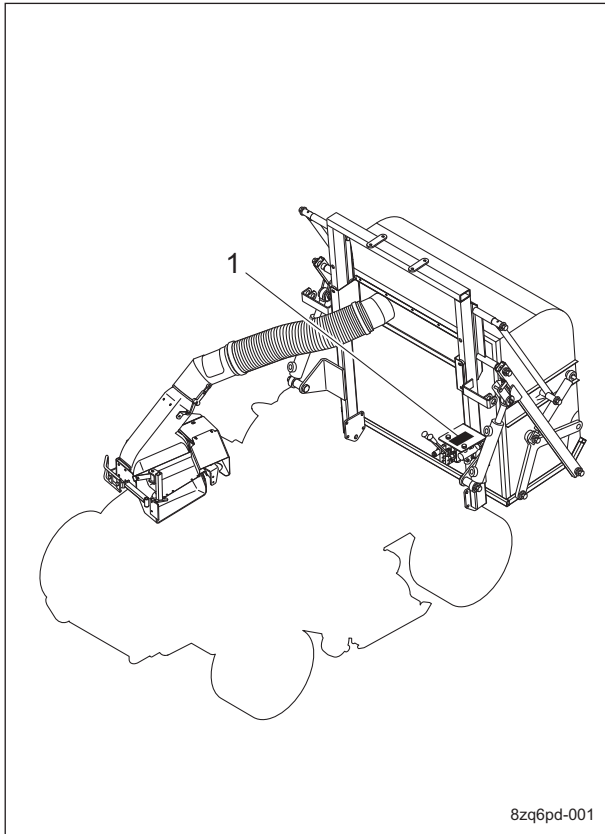
ねじ緩み止め剤は、ネジロック中強度（スリ-ボンド 1322 相当品 嫌気性強力封着剤）を塗布してください。

部位	コード番号	品名	締め付けトルク			ねじ緩み止め剤
			N-m	kgf-cm	lb-in	
プロワープーリー	K0010080152	8 調質ボルト 15	28 - 38	285.52 - 387.49	247.83 - 336.34	—

取り扱い説明

各部の操作方法

操作ラベル貼付位置



操作ラベル貼付位置_001

1 切換レバーマーク

操作ラベルの説明

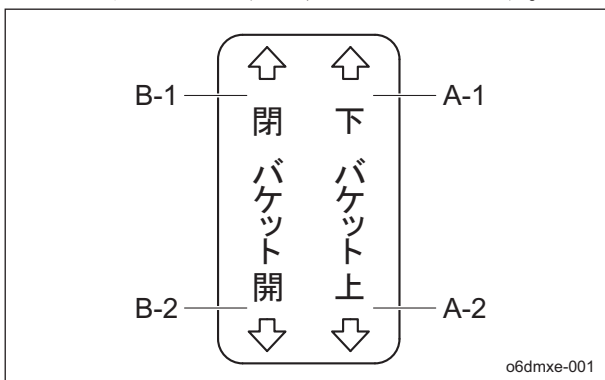
切換レバーマーク

K4203000910

切換レバーマーク

A：バケットの上昇・下降を示しています。

B：バケットフタの開・閉を示しています。



切換レバーマーク_001

A-1	下降
A-2	上昇
B-1	閉じる
B-2	開く

バケット上下レバー

警告

軟弱地、不整地や傾斜地では、バケットを上げないでください。
車両本体のバランスが崩れ、転倒します。

警告

バケットを上げるときは、前後輪が直進状態になるように停車してください。
車両本体のバランスが崩れ、転倒するおそれがあります。

警告

バケットを上げて走行しないでください。
車両本体のバランスが崩れ、転倒します。

警告

バケット上下レバーは、急な上下操作を繰り返さないでください。
車両本体が振れて、転倒するおそれがあります。

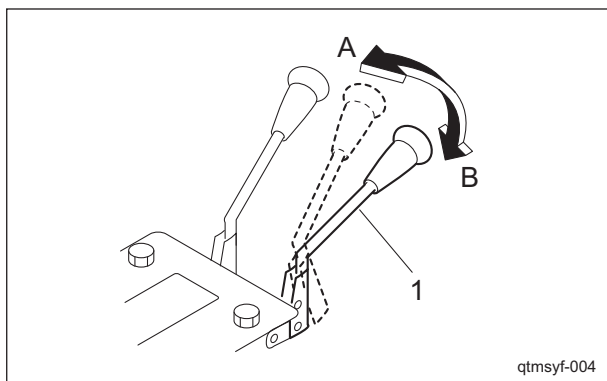
注意

周囲に人がいるとき、障害物があるときは、バケットを上げ下げしないでください。
ケガをするおそれがあります。

注意

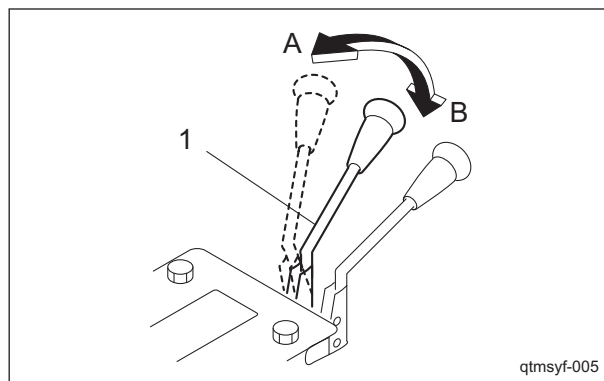
バケットの上げ下げはシートに座って行ってください。

バケット上下レバーは、運転席の左側にあります。バケット上下レバーを「上昇」側に倒すとバケットが上がり、「下降」側に倒すとバケットが下がります。



バケット上下レバー_001

1	バケット上下レバー
A	上昇
B	下降



バケット開閉レバー_001

1	バケット開閉レバー
A	開く
B	閉じる

バケット開閉レバー

⚠ 注意

ロータリーナイフやブロワーの回転中は、バケットフタを開けないでください。
飛散物により、ケガをするおそれがあります。

重要

バケットが下がっているときは、バケットフタを開閉しないでください。
バケットフタが地面に当たり、破損する場合があります。

重要

バケットフタを閉じるときは、バケット開閉レバーを「閉」側に倒し、そのままの位置で2-3秒程度レバーから手を放さないようにしてください。
すぐにレバーから手を放すと、バケットフタが開いてしまうおそれがあります。

重要

バケットフタがしっかりと閉められていないと、集草した芝草がこぼれてしまうおそれがあります。

バケット開閉レバーは、運転席の左側にあります。バケット開閉レバーを「開く」側に倒すとバケットフタが開き、「閉じる」側に倒すとバケットフタが閉じます。

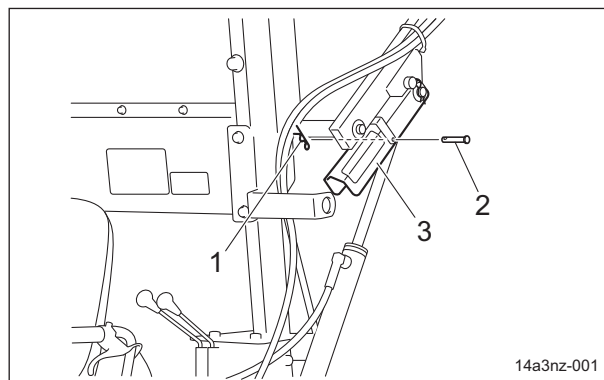
シリンダーロック

シリンダーロックは、バケットを上げた状態でバケットの下に入って作業する際に使用します。

⚠ 警告

バケットを上げた状態を保持する場合は、シリンダーロックでバケットを固定してください。

1. Rピン、丸頭ピンを取り外し、シリンダーロックを下げてロックしてください。

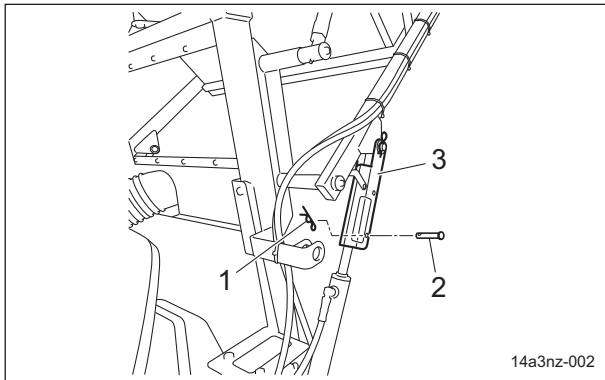


シリンダーロック_001

1	Rピン
2	丸頭ピン
3	シリンダーロック

取り扱い説明

2. 丸頭ピンをシリンダーロック穴に差し込み、Rピンを取り付けてください。



シリンダーロック_002

1	Rピン
2	丸頭ピン
3	シリンダーロック

作業

集草操作

⚠ 注意

ブロワーやダクトホースが詰まった場合は、エンジンを停止してから詰まりを取り除いてください。

⚠ 注意

集草した芝草がバケットの窓の赤いラインを超えた場合は、速やかに作業を中止し、排出を行ってください。

重要

芝草が湿った状態での作業は、ブロワー・ダクトホースが詰まる原因になります。集草作業は、できるだけ芝草が乾いているときに行ってください。

重要

長い芝草を一度に刈り込みし、集草作業をするとブロワー・ダクトホースが詰まる原因になります。一番高い刈高で作業し、再度希望の刈高で作業するなど、状況に合わせた作業を行ってください。

1. バケットが下限まで下がっていることを確認してください。
2. バケットフタが閉まっていることを確認してください。

3. ブロワーの回転は、ロータリーナイフの回転に連動しています。

- ・ ナイフ回転レバーを「回転」側にすると、ブロワーが回転します。
- ・ ナイフ回転レバーを「停止」側にすると、ブロワーの回転が停止します。

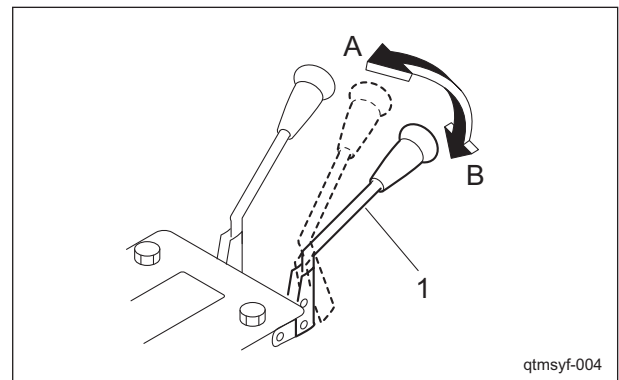
集草操作は、車両本体の取扱説明書「刈り込み操作」を参照してください。

排出操作

⚠ 危険

崖などの危険な場所では、排出操作を行わないでください。

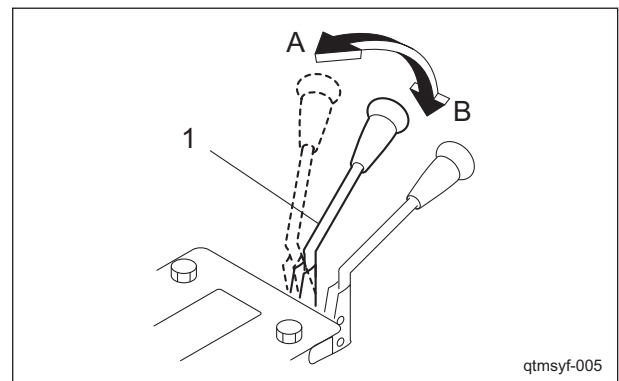
1. 車体を直進状態で停車させ、駐車ブレーキをかけます。
2. バケット上下レバーを「上昇」側に倒し、バケットを上限まで上げます。



排出操作_001

1	バケット上下レバー
A	上昇
B	下降

3. バケット開閉レバーを「開く」側に倒し、バケットフタを開き、集草した芝草を排出します。



排出操作_002

1	バケット開閉レバー
A	開く
B	閉じる

- バケット開閉レバーを「閉じる」側に倒し、バケットフタを閉めます。
- バケット上下レバーを「下降」側に倒し、バケットを下限まで下げます。

長期保管

長期保管について

- 泥や草屑、油汚れなどをきれいに落としてください。
- 各注油箇所にグリース注入、塗布と注油をしてください。

メンテナンス上の注意	Page 5-2
メンテナンススケジュール	Page 5-3
調整値	Page 5-3
グリースアップ	Page 5-4
グリースアップについて	Page 5-4
グリースアップ位置	Page 5-4
メンテナンスの方法	Page 5-5
バケットの清掃	Page 5-5
ダクトホース・ブロワーの清掃	Page 5-6
ベルトの張り調整	Page 5-7

メンテナンス

メンテナンス上の注意

⚠ 注意

実施するメンテナンスを熟知してから行ってください。

重要

メンテナンスを行う際に必要な工具は、目的にあったものを使用してください。

重要

常に安全に、最高の性能でお使い頂くために、交換部品やアクセサリは BARONESS 純正部品をお求めください。

純正部品以外の部品をご使用になった場合、製品保証を受けられなくなる場合がありますので、ご注意ください。

メンテナンススケジュール

GM1700 用ハイダンプスイーパー

メンテナンススケジュールは、以下のとおりです。

○・・・点検、調整、補給、清掃

●・・・交換（初回）

△・・・交換

メンテナンス項目	作業前	作業後	時間ごと												年ごと				備考
			8時間ごと	10時間ごと	50時間ごと	100時間ごと	200時間ごと	250時間ごと	300時間ごと	400時間ごと	500時間ごと	1年ごと	2年ごと	3年ごと	4年ごと				
ハイダンプスイーパー	各部の締め付け	○																	
	グリースアップ・注油				○														
	Vベルト	○											△						
	カバー	○																	
	油漏れ	○																	
	油圧ホース（可動部）	○												△					
	油圧ホース（固定部）	○															△		
	ファン	○																	
	ダクト	○																	
	外観清掃		○																

・ 消耗品については、保証値ではありません。

調整値

駆動ベルト	スプリングのコイル長 62.0 mm (2.44 in)	スプリングのコイル長を 5.0 mm (0.2 in) 伸ばす
-------	------------------------------	---------------------------------

メンテナンス

グリースアップ

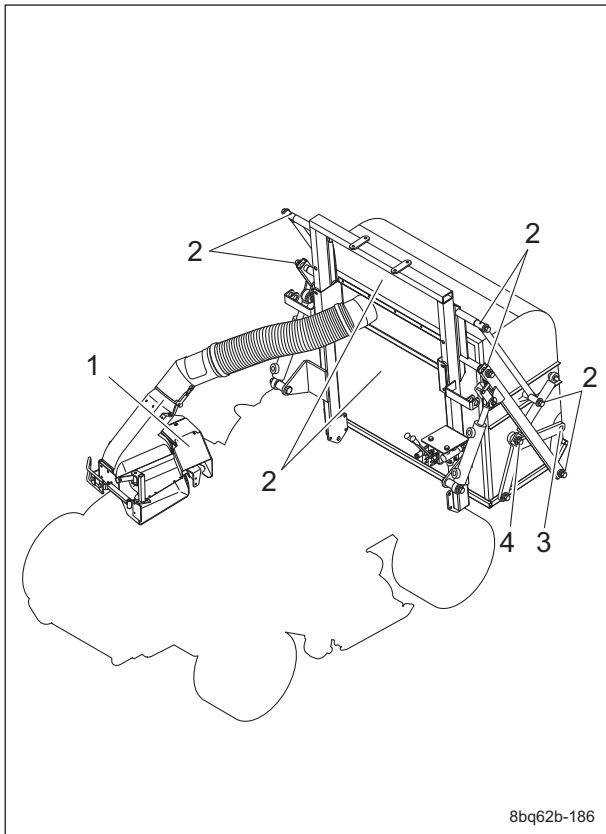
グリースアップについて

可動部がグリース切れにより、固着したり、破損したりする可能性がありますので、グリースアップの必要性があります。

メンテナンススケジュールに従って、ウレア系2号グリースでグリースアップしてください。
 その他指定のグリース、潤滑油を使用する場所は、「グリースアップ位置」に記載されています。
 指定のグリース、潤滑油でグリースアップしてください。

グリースアップ位置

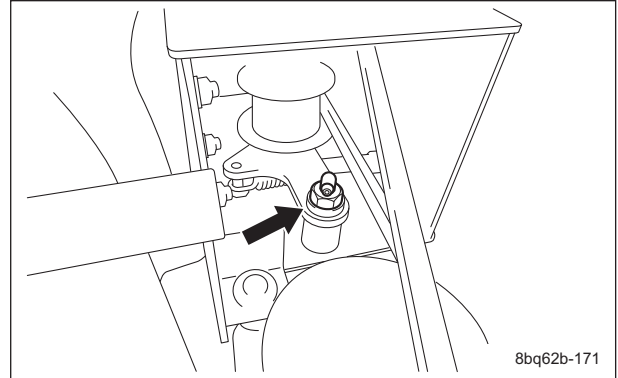
次の場所にグリースニップルが取り付けられています。
 50時間ごとにグリースアップしてください。



グリースアップ位置_001

	部位	注油箇所数
1	テンションレバー支点部	1
2	バケット上下アーム支点部	8
3	バケット開閉アーム支点部	2
4	バケットフタシリンダー支点部	1

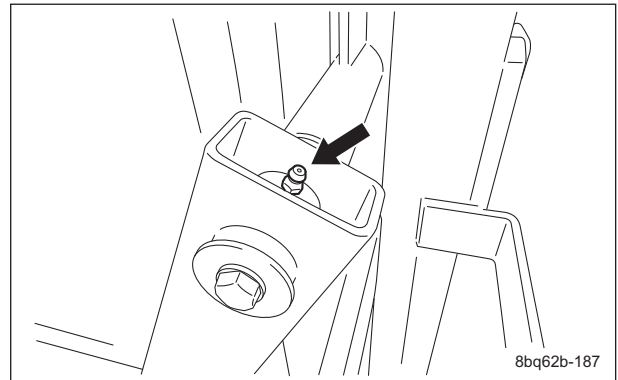
1. テンションレバー支点部



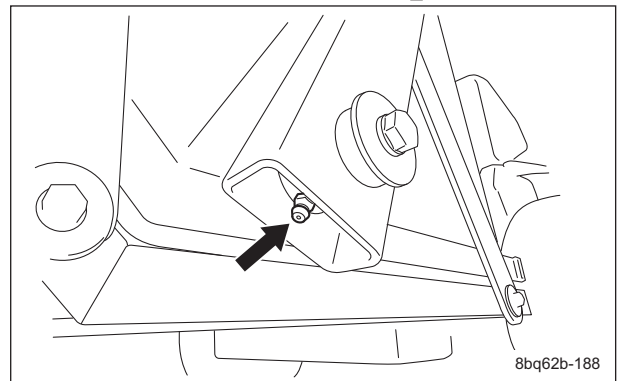
グリースアップ位置_002

2. バケット上下アーム支点部

- ・バケット継ぎパイプ
 左右のバケット継ぎパイプにそれぞれ2つの注油箇所があります。

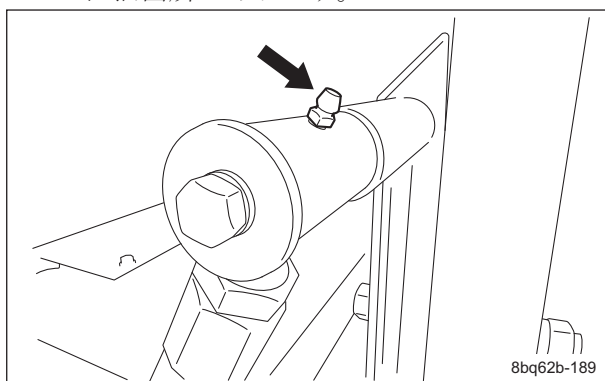


グリースアップ位置_003

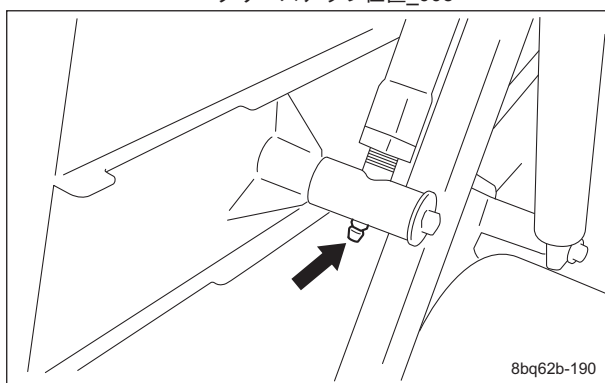


グリースアップ位置_004

- バケット調節パイプ
左右のバケット調節パイプにそれぞれ2つの注油箇所があります。

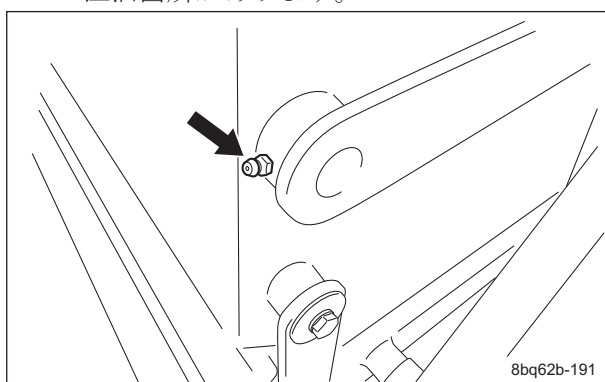


グリースアップ位置_005



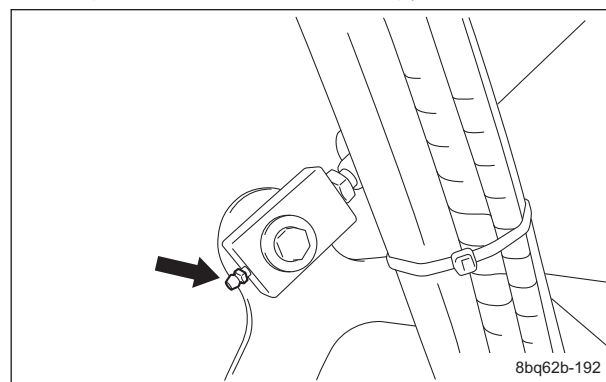
グリースアップ位置_006

3. バケット開閉アーム支点部
左右のバケット開閉アーム支点部にそれぞれ1つの注油箇所があります。



グリースアップ位置_007

4. バケットフタシリンダー支点部



グリースアップ位置_008

メンテナンスの方法

バケットの清掃

⚠ 警告

バケットを上げた状態を保持する場合は、シリンダーロックでバケットを固定してください。

重要

バケットのネットが目詰まりすると、集草性能が低下します。

作業後は、バケットの清掃を行ってください。また、バケットは定期的に洗浄してください。特に湿った芝草を集草した場合は、必ず洗浄してください。

1. エンジンを始動してください。
2. バケットを上げてください。
3. バケットフタを開けてください。
4. エンジンを停止し、キーを抜き取ってください。
5. シリンダーロックを装着してください。
6. バケットの内側および、ネットを水または圧縮空気で丁寧に清掃してください。

メンテナンス

ダクトホース・ブロワーの清掃

注意

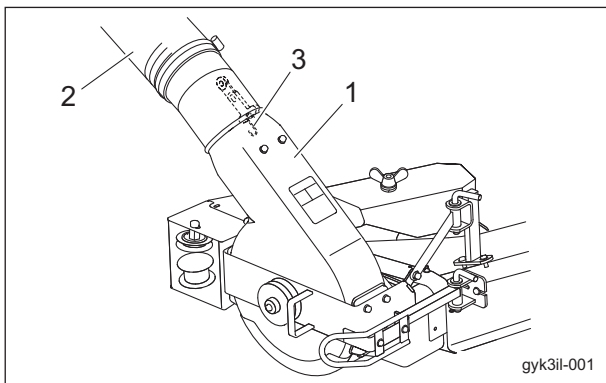
ロータリーナイフおよび、ブロワーが回転中は絶対にダクトホースを取り外さないでください。飛散物により、ケガをするおそれがあります。

重要

ブロワーを取り付ける際は、ベルトがプーリー溝に正しく入っているか確認してください。

作業後または、ダクトホースが詰まった場合は、ダクトホース・ブロワーの清掃を行ってください。

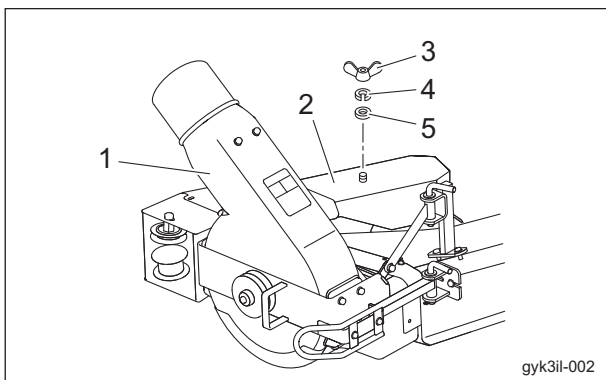
1. エンジンを停止し、キーを抜き取ってください。
2. フックを外し、ダクトホースを抜き取ってください。



ダクトホース・ブロワーの清掃_001

1	ブロワー
2	ダクトホース
3	フック

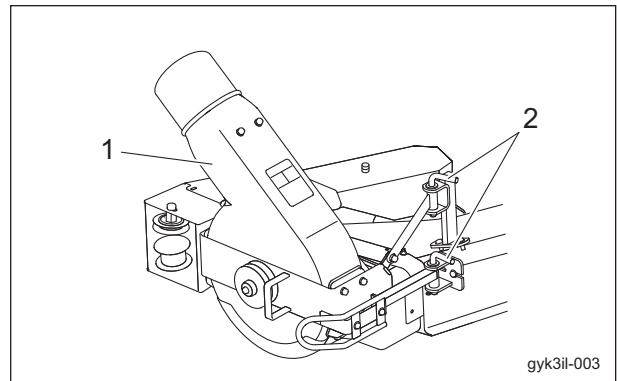
3. ちょうナットを取り外し、ベルトカバーを取り外してください。



ダクトホース・ブロワーの清掃_002

1	ブロワー
2	ベルトカバー
3	ちょうナット
4	Sワッシャー
5	ワッシャー

4. ピンを抜き、ブロワーを外側に引き出してください。



ダクトホース・ブロワーの清掃_003

1	ブロワー
2	ピン

5. ダクトホース、ブロワーに堆積した芝草を取り出し、清掃してください。

ベルトの張り調整

警告

ベルトの調整を行う場合は、必ずエンジンを停止してください。

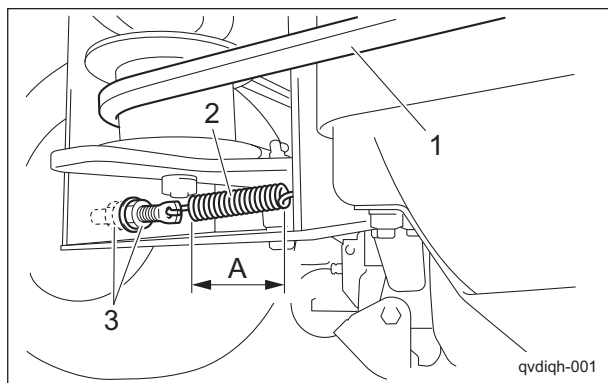
重要

ベルトの張り具合の確認は、ベルトを数回転させた後に行ってください。

使用頻度により、ベルトが緩いと踊ったり、スリップする可能性があります。
また、張り過ぎると損傷が早くなる可能性があります。
必要に応じて調整し、いつも適正な張り具合に保ってください。

駆動ベルト

1. ベルトの中央部を指で押さえて、張り具合を確認してください。
2. ベルトの張りが適正でない場合は、ロックナットで調整します。
テンション Springs のコイル長さが 62.0 mm (2.44 in) になるように調整してください。(Springs のコイル長さを 5.0 mm (0.2 in) 伸ばす)

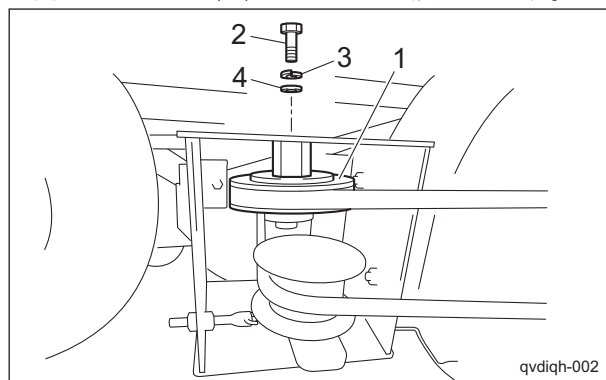


駆動ベルト_001

1	ベルト
2	テンション Spring
3	ロックナット
A	62.0 mm

3. ロックナットで調整できない場合は、以下の要領で調整します。

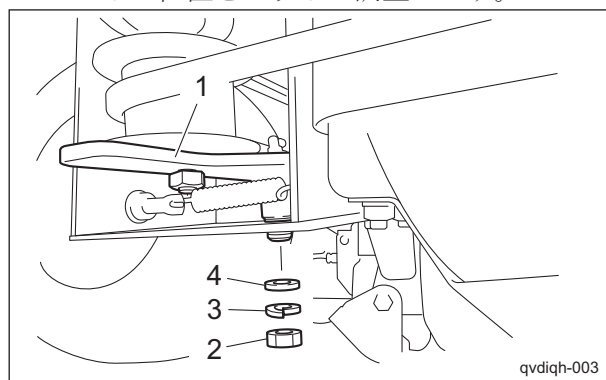
[1] プーリーの位置をボルトで調整します。



駆動ベルト_002

1	プーリー
2	ボルト
3	S ワッシャー
4	ワッシャー

[2] テンションプーリーレバーの支点の段付ボルトの位置をナットで調整します。



駆動ベルト_003

1	テンションプーリーレバー
2	ナット
3	S ワッシャー
4	ワッシャー

BARONESS[®]
Quality on Demand



株式会社 共 栄 社
〒442-8530 TEL (0533) 84-1221
愛知県豊川市美幸町1-26 FAX (0533) 84-1220